幌延町の秘境駅
ご紹介

秘境駅の里「ほろのべ」
幌　延　町

秘境駅の里
ほ・ろ・の・べ

【幌延町の秘境駅】

▼全国最多の秘境駅：町内６駅

・幌延町は全国の自治体でもっとも多くの秘境駅を有するマチです。※100位以内

▼秘境駅の魅力とは！？

　秘境駅とは、ここになぜ駅があるのか？というほど人里はなれた空間に存在する無人駅のことで、駅へ続く道路はおろか、歩道すら無いこともあります。停車する列車が極めて少ないため、到達することが困難な駅とされ、到達し難いほど秘境駅ハンターの心をつかむ存在です。

　昔は集落が存在していたが、人が去り、さびれた姿になった秘境駅は、言わばその地域の生き証人。

　そうした時代の流れを静かな空間でひとり楽しむのはとても贅沢なひととき。

　今や鉄道ファンだけではなく、一般の方でも訪れる人が増えてきており、ぜひ一度足を運んで、「秘境駅」めぐりを味わってみるのも面白いのでは…。

☆プチ情報☆　▼秘境駅携帯クリーナー3種類

1個300円！

＊。・゛*:.

幌延駅周辺マップ

～ATM情報～

（A）郵便局
平日／8：45～18：00
土日祝／9：00～17：00

（B）稚内信金
平日／8：45～18：00
土日祝／9：00～18：00

食べ処・飲み処

①福緑寿し
②居酒屋 匠
⑤極楽とんぼ（カラオケBOXもあります）
⑥居酒屋 まるじ
⑨居酒屋 さくら
⑩菜味季（昼間も営業してます）
⑮居酒屋 のんべぇ
⑯居酒屋 和（nagomi）
⑰彩
⑱あいづ食堂（昼間も営業してます）

スナック

③ラストチャンス
⑦アルファ
⑧GMサロン
⑪ポイントワン

食料品・雑貨 他

⑬Aコープ 幌延店
　営業時間／9:00～18:00
⑭タイムリーイトウ
　営業時間／9:00～20:00

秘境駅グッズ
もあるよ～

本屋・事務用品

④水上商店

＊。・゛*:.

豊富駅

①下沼駅

幌延駅

※上部駅名表示は、上り順（北→南）で表示しております

秘境駅ランキング・2017年度版　～第２４位～

「下沼」駅周辺は開けていますが、ここも周囲に民家はありません。緩急車の待合室は誰かが住んでいるような生活感があって、壁には落書き？もあり不思議な空間です。

2017年、マイステーション運動の一環として駅舎の塗装を一新しました。駅舎内には旅人がいろいろなプレゼントを置いていき、愛される駅であると実感できます。

2006年3月18日まで隣に南下沼駅が存在していましたが、通学生の卒業と同時に廃止となってしまいました…。

近くには湧水が２箇所あります。駅周辺に花を植え、維持管理してくれる駅を愛する地元住民がおられます。

利尻・礼文・サロベツ国立公園のパンケ沼まで歩いて2km。名山台という名所まで1km程度。

※JR北海道H29.3廃止方針とした駅

＊。・˙*:.

下沼駅

②幌延駅

上幌延駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～ランク外～

　町の中心に位置する駅であり、特急「宗谷」・「サロベツ」が停車する幌延町の玄関口となっています。留萌駅から日本海沿いに北上していた羽幌線の終着駅でもありました。

　昔は、国鉄物資部や構内食堂があり、内方線路沿いには国鉄職員の官舎が軒を連ねていました。昭和３６年頃の駅員定数は４９人だったようです。（現在は一桁です…）

　２０１５年に幌延町が初めて任命した井上仁志観光大使のＭＶで大活躍しました。

　ＪＲ北海道が取り組み始めた「わがまちご当地入場券」を2017年8月29日から販売開始！なぜか安牛駅です…。

＊。・˙*:.

。・゜:.

幌延駅 ― # ③上幌延駅 ― 南幌延駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～第47位～

　秘境駅「上幌延」駅舎も道路沿いにあるので、他の駅よりは見つけやすい。駅前周辺には数件の民家があるが、相変わらず人影は見当たりません。
　昔は、郵便局、駐在所、食料・衣料・日用雑貨の商店、理髪店、旅館、運送業などの店があり、鉄道開通までは、幌延市街地より栄えていました。本来は鉄道開通でさらに地域は発展するのですが、利便性が向上し現在の幌延市街地に中心が移ったため、さびれていったようです。
　安牛駅・南幌延駅・上幌延駅は駅間の距離が2.5km程度と短いため、秘境駅ハンターたちは徒歩移動という手段を駆使します。

。・゜:.

上幌延駅

④南幌延駅

安牛駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～第４６位～

　道路沿いに位置するので見つけやすい。
　周囲には数件の民家があり、夏には牛が草を食む姿が見られ何とものどか。
　ここは、幌延町内の他の駅と異なり、開業当初からの根っからの無人駅で、板張りのホームがポツンと置かれた簡素な作り。線路沿いには糠南駅と同じく町管理の木造の待合室があり、郷土資料館かと思うほどの年季の入った除雪器具が置かれています。また、イタドリの成長の姿が見られるほどのワイルド感も楽しめます。
　何と言っても、板を渡しただけのベンチが鉄道愛好家にはたまらない存在です。座面には「グリーン座席指定」の文字があり、これほどお粗末なグリーン座席は存在しないと思います。
　最近、地域住民が駅ノートに返信することがあり、注目の秘境駅です。
※JR北海道H29.3廃止方針とした駅

南幌延駅 ⑤安牛駅 雄信内駅

⑤安牛駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～第３２位～

　駅周辺には人家もなくまさに秘境駅です。駅前にそびえる大木がかわいい駅舎を守っているようです。
　昔は、洋服仕立て屋、雑貨店、商店、日通などがあったようですが、現在の駅前通りの秘境感は半端ではなく、ここまで駅舎の塗装が劣化している駅はほかには無いように思います。
　夏には虫たちに占領される秘境度抜群の駅です。
　ＪＲ北海道が取り組み始めた「わがまちご当地入場券」の対象となった駅です。幌延駅で2017年8月29日から販売開始！

安牛駅

⑥雄信内駅

糠南駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～第５９位～

宗谷本線で貴重な木造駅舎の残る駅として抜海と並び有名な駅です。
行き違い施設がなければ、ここも貨車の駅舎になっていたかもしれません。
駅前にある住宅には人影もなく、今はゴーストタウンとなっています。
雄信内駅東側の「下平トンネル」は、昭和40年完成で延長1256m、宗谷本線唯一のトンネルです。
木造駅舎が素晴らしすぎて、歴史的建造物として末長く残していきたい駅舎です。

＊。・˙*:.

雄信内駅

⑦糠南駅

問寒別駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～第１０位～

　原野の中にポツンと存在する板張りのホームと物置。
　国鉄時代に地域住民の利便を図る為に設置された仮乗降所として誕生。やがてテレビ番組でも紹介されて全国から旅人が訪れる有名駅になりました。
　板張りホームは、以前の「仮乗降場」の証です。この「仮乗降場」は、国鉄本社ではなく地方管理局の判断の下、低資金で設置されたものであり、簡易的な造りとなっていいます。中には1両編成の列車がはみ出すほど短い、”朝礼台”と呼ばれるホームもあり、まさに糠南駅は朝礼台ホームです。
　鉄道駅ではなかったため、全国の時刻表には表示されず、本州から北海道に来た鉄道愛好家が仮乗降場の存在に気づき、好奇心をかき立てる存在だったとか…。
※JR北海道H29.3廃止方針とした駅

＊。・˙*:.

榛南駅 ― # ⑧問寒別駅 ― 歌内駅

秘境駅ランキング・2017年度版　～ランク外～

かつては相対式ホーム2面2線を有する列車交換可能な交換駅でした。駅付近に、「問寒別簡易軌道始点跡」があります。道道583号沿いには、簡易軌道の橋台など遺構が見られます。

駅舎内には、「トイカンベツ歴史探検隊」という紙芝居風問寒別物語も飾られており、地域の歴史を学べます。

平成27年の夏、外壁などを改修、オシャレでポップな現代調に変身しました。

北海道には、かつての貨物列車の後ろに連結されていた貨車の車掌車（緩急車）を駅舎として使用している貨車駅舎が多く存在しており、町内には、問寒別駅、安牛駅、上幌延駅、下沼駅と4駅存在します。

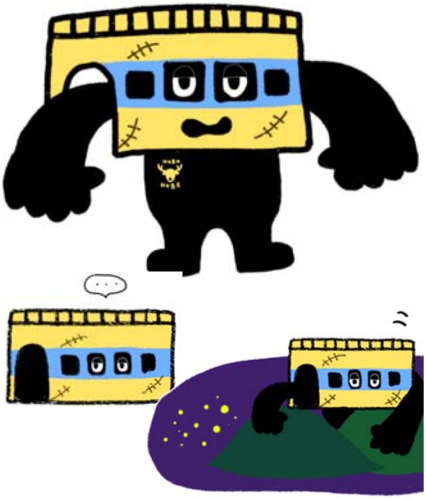
幌延町内の無人駅は7駅ですが、この問寒別駅だけが秘境駅ランキング外の無人駅です。

。・゜:.

注目!!

秘境駅キャラクター誕生!!

幌延町では、鉄道によるまちおこしを進めるため、地域住民や全国の鉄道ファンに親しまれる秘境駅キャラクターコンテストを開催し、平成２８年１０月に大賞が決まりました！

糠南駅・大賞「ぬかにゃん」	下沼駅・大賞「ぬまひきょん」
  ●モデル…「糠南駅駅舎（赤い屋根の白い物置）」 【幌延町の設定】 ・ヌカナンの山奥から出てきたメス猫で名前は「ぬかにゃん」。 ・糠南駅の物置に住みつき、秘境駅探訪ファンを密かに見守っている。 ・週に2～3日程度、人型に変身して朝一番のキハ54で幌延町役場に通勤し、何食わぬ顔で秘境駅課でパート勤務。たまに、「糠南」のキーワードを聞くと油断して耳が飛び出してしまう。 ・仕事を終えると、また最終のキハ54に乗って糠南駅に帰り、猫型に戻って物置の番人に…。	 ・下沼駅に住みつく妖怪 ・誰も見ていない間に、こっそり動き出す ・夜空の星を見上げるのが好き。星にあきたら町の灯りをのぞきに行く ・ほろのべロゴの黒いTシャツを着ているが黒くて一体化して見える ・誰かが来ると、こっそり隠れてしまう

幌延町では、これらの秘境駅キャラクターを活用し、鉄道によるまちおこしを展開していきます。

。・゜:.

幌延町内３秘境（無人）駅「糠南駅・南幌延駅・下沼駅」の廃止方針について

平成28年8月、JR北海道から「極端に利用の少ない駅」として廃止方針を示された「糠南駅・南幌延駅・下沼駅」について、公共交通、観光振興、集落維持などの観点から、自治体で経費を負担して当面一年間存続させることとしました。

このため、これまで以上の鉄道利用促進策を展開し、「普通列車利用促進」・「秘境駅乗降」・「鉄道事業者収入増」に繋げ、「町ＰＲ」・「地域経済活性化」・「集落維持活性化」を目指す必要があります。

このため、幌延町では「あなたが守る秘境駅プロジェクト・マイステーション運動」を展開します。

糠南駅

南幌延駅

下沼駅
（お化粧直し前）

あなたが守る秘境駅プロジェクト
マイステーション運動

　「秘境駅の里『ほろのべ』」では、秘境駅を「地域住民」・「鉄道愛好家」・「町」が自分たちの駅として守り育てていく「あなたが守る秘境駅プロジェクト・マイステーション運動」を展開しています。

人的支援の「駅保全活動」

＋

金銭的支援の「ふるさと納税」

■ねらいと期待される効果

・秘境駅存続に向けた自治体として、鉄道愛好家へのＰＲ、認知度向上
・維持管理経費負担軽減
・交流人口増加、地域連携による集落維持活性化
・宿泊、飲食等による地域経済活性化

■3駅（糠南駅・南幌延駅・下沼駅）保全イベント

　地域住民・鉄道愛好家・町が連携しながら人的（労力）支援により駅を守り育んでいく取組で、駅への愛着を強固なものとして、マイステーション意識の浸透を目指します。
　交流会を開催し、地域経済活性化も目指します。

■ふるさと納税「あなたが守る秘境駅プロジェクト」

　３駅維持管理に特化したふるさと納税窓口を創設し、鉄道愛好家が金銭面で３駅存続を支援していただく仕組をつくりました。ご支援いただいたご寄附は、町で維持管理する３駅の経費にのみ活用（返礼品等経費除く）します。これにより、自分が秘境駅維持に貢献しているという「マイステーション」意識を広めます。

あなたが守る秘境駅プロジェクト・マイステーション運動
JR下沼駅「みんなで！お化粧直し会」

「自分たちの駅」として秘境駅に愛着を持ち、守り育てていく「マイステーション運動」の一環として、駅舎壁面等の腐食が著しい下沼駅の壁面等を塗装する保全活動を実施し、新生「下沼駅」が誕生しました！

1．H29年6月26日（日）：塗装はがしイベント

○時々小雨となる寒い一日でしたが、地域住民・児童生徒、鉄道愛好家、町職員などが、地元の専門事業者さまの技術指導いただきながら塗装はがし作業を行いました。

○作業は予想以上に順調な進み具合で、サビ止めとベースとなるクリーム色の下塗り作業も行いました。

○後日、本塗イベントに備えて、塗りやすいよう縁取り作業も進めました。

塗装するよ～！

2．8月20日（日）：本塗イベント

○下沼駅・秘境駅キャラクター「ぬまひきょん」を表現した塗装とするため、事前に、目・口・傷など本塗する部分を下書きしておきました。

○イベント前日の8月19日に「ぬまひきょん」原作者様が「ぬまひきょん」の下書き、一部下塗作業を実施しました。

○当日、塗装業者様のアドバイスをいただきながら、地域住民、児童生徒、鉄道愛好家、町職員などで本塗作業を実施しました。

○あらかじめ作っておいた「JR下沼駅」・「ぶら下がりぬまひきょん」のシールもホーム・集落壁面に貼り付けました。

○最後は、下り壁面に、キャラクター名の「ぬまひきょん」と原作者様のイニシャルを入れ、目玉を塗って完成となりました！

■ぶら下がり「ぬまひきょん」

○ホームと集落側の壁面上部にある「JR下沼駅」の表示には、「ぶら下がり・ぬまひきょん」がいます。

○「ぶら下がりぬまひきょん」は、「JR」の「J」を吊革に見立てて、そこにぶら下がりゆらゆらしているイメージの「ぬまひきょん」で、今回のために原作者様がデザインしてくださいました。

■新しくなった「ＪＲ下沼駅」

集落壁面

○壁面右下に「ぬまひきょん」が手を挙げてお客様をお迎えしている。左上には「ぶら下がり・ぬまひきょん」がゆらゆらしている

ホーム壁面

○窓に目、その下に口、傷を3か所デザインし、壁面全体で「ぬまひきょん」を表現。左下には「ぬまひきょん」が列車に向かって手を振っている。右上には「ぶら下がり・ぬまひきょん」

下り壁面

○「ぬまひきょん」が幻の青いケシ・ブルーポピーを持って、幌延町のPR。壁面を額縁に見立てて、絵画のように「ぬまひきょん」を表現

上り壁面

○「ぬまひきょん」の目・口・傷を塗装し、左下には「ぬまひきょん」の基本形

【メモ】

『秘境駅』

冷静に考えると、地域の産業が廃れ、人々が去ってしまったことで生まれた形態のひとつが「秘境駅」だ。
それを"町おこし"と称して、商業的に観光化することが本当に良いことなのか？
そもそも住民の少ない特定地域へ、多勢の観光客が大挙して詰めかけることは、"環境破壊"に他ならない。
騒音しかり、ゴミ問題しかり、器物破損しかり、そして治安しかり…
いわゆる地域の人の平穏な生活を脅かされるということだ。
もうひとつ苦言を申せば、右上がりの世代で現役時代に成功を収め、退職後の物見遊山で訪れる人々は、そんなことなど微塵も考えたことは無かろう。
だからこそ、秘境駅に訪れるのは、ひとりもしくは少人数で。他所の人だからこそ謙虚に。これが旅人の基本姿勢だと思うのである。

秘境駅訪問家　牛山隆信

幌　延　町

幌延町役場 産業振興課

〒098-3207 天塩郡幌延町宮園町1-1

01632-5-1113（233-235）